

## 秋の農村舞台公演

三好町法市農村舞台第二回公演案内

林 茂樹

三好町法市農村舞台では昨年に続き第二回目の公演を十月三日に計画している。去る五月三十一日に出演が予定されている姫路市の民族歌舞団「花こま」の久保田代表をお迎えして現地で打ち合わせを行ったので打ち合わせ報告と公演の予告をさせていただく。打ち合わせには地元法市農村舞台保存会の方々、三好町教育委員会、そして阿波農村舞台の会から川上、林、高田の三名が参加。舞台の改修や設営について話し合われた。「花こま」は車人形で浄瑠璃を演じます。車人形は我々の慣れ親しんだ三人使いと違って小さな台車に腰掛けた人が自分の足に人形の足を乗せて一人で操る人形芝居で、とても興味が引かれます。以下公演で予定されている演目を紹介します。



- 箱廻し（阿波木偶箱廻しを復活する会）
- 獅子舞・南京玉簾・太鼓（花こま座）
- 人形芝居「山椒大夫・鳥おい歌の段」（花こま座）

## お待たせしました。 阿波農村舞台の会 ホームページができました。

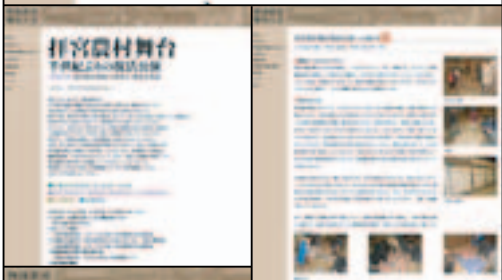
現在、六月の拝宮農村舞台復活公演の記録を順次掲載していています。去年の八月の見学会から始まった、復活公演への道のりを写真でたどることができず。掲示板にはすでに、たくさんの方が書き込まれています。ぜひご覧ください、そして感想などを書き込んでください。（掲示板には写真も投稿できます）

また、ホームページ上からも入会の申し込みができますので、まだ会員になっていない方にも教えてあげてください。

今後、どんどんコンテンツを充実させていきたいと思っています。お楽しみに。

▼機関連ワーキンググループ・岩佐俊彦

<http://www.nousonbutai.com/>



## 阿波農村舞台の会 総会

佐藤憲治

平成十六年五月十八日（火）十八時から徳島県立文学書道館講座室において、平成十六年度阿波農村舞台の会総会を開催し、大和会長をはじめ会員二十八名が参加しました。農村舞台見学会や三好町法市農村舞台の八十年ぶりの復活公演への支援、機関連「阿波農村舞台通信」の発行など平成十五年度の事業報告並びに収支決算書、監査報告と平成十六年度の事業計画、予算案が承認されました。

平成十六年度は、約五十年ぶりとなる拝宮農村舞台復活公演や三好町法市農村舞台の第二回公演への支援、機関連紙の発行、阿波農村舞台の会のホームページを開設し農村舞台に関する様々な情報を全国に向けて発信していくことが決定されました。



グラフィックデザインを通して、「阿波農村舞台の会」にささやかな協力ができれば・・・と、軽い気分で「手伝いましょか、いいですよ」なんて佐藤さんに返事をしてしまつてから、もう一年半以上にもなりますかね、はやいものです。

農村舞台というものについての知識はほとんどなく、関心も特になく、よくやってみると自分でも意外な感じがしています。

ただ日本の伝統美とかジャパニーズ・アイデンティティのようなものへの興味は年齢を重ねる毎に、水が溶けるように、お湯が沸いてくるように、懐かしく僕の心の中の何かを刺激するようです。

文楽、浄瑠璃、農村舞台、和風文様、江戸文字、木立の匂い、溪谷のせせらぎ・・・想像しながら、この農村舞台通信やらリーフレットの作成にかかわっています。

▼機関連ワーキンググループ・川上一

## 阿波農村舞台通信

平成16年 No.4（夏号）2004年7月31日発行

## 阿波農村舞台の会

〒770-0803 徳島市上吉野町3-22-2 佐藤方  
Tel/Fax.088-655-6457 mail:info@nousonbutai.com